

## 「クリーン・ビーチいしかわ」への継続参画

団体名●池田ゼミナール、野外スポーツ部、スポーツ学科フィールドプロジェクト／代表者名●池田幸應(人間科学部教授)

### はじめに

石川県は583kmの海岸線を有し、県民と海とは親密な関係であり、石川県の海岸線をきれいにする海岸愛護運動「クリーン・ビーチいしかわ」が1995年からスタートし全県の県民運動として県民のみならず全国へ発信されている。本学としても、「野外スポーツ部」設立当初(「野外スポーツ同好会」として1998年11月設立)から本活動に参加しており、2001年秋、「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦～学生もやるときゃやるぞ!～」をスタートさせている。2007年以降、人間科学部スポーツ学科池田ゼミナールも連携参画し活動継続されている。学生参画の活動も多岐にわたり、現在では、「クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ」、「いしかわ漁民の森づくり」、「ビーさん跳ばし世界選手権 in 金沢」、「稚魚の放流」、「漂流物展」「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦」等にも中心的に運営・サポート参画しており、地域社会から高い評価を得るに至っている。

### 活動内容

本稿では、2019年度中の活動の中で、以下の3つの活動について報告する。

(1)「クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ」[5/26、金沢市打木海岸：地域住民、地元企業の各種団体、個人による海岸清掃活動。

(2)「2019年度 海辺の漂着物調査」[8/27、羽咋市釜屋海岸：石川県事業として本学池田ゼミナール、フィールド関連学生、県環境行政担当者による稚魚放流(クロダイ稚魚1,000匹)、「海」及び「栽培漁業」についての講演、海岸漂着物調査(マイクロプラスチック等)。

(3)「いしかわ環境フェア2019」[8/24・25、石川県産業展示館4号館：公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議、本学池田ゼミナール、フィールド関連学生、県環境行政担当者との協働による「クリーン・ビーチいしかわ」ブース及び石川県「廃棄物対策課ブース」の運営協力。



写真1 海岸でのマイクロプラスチック調査の様子



写真2 いしかわ環境フェア2019でのブースの様子

### 成果、結果の考察

活動は、単なる海岸清掃活動に留まらず、クリーン・ビーチいしかわ実行委員会、石川県環境部等との連携協働による次世代人材育成としての側面に加え、活動の多くに子どもたちを対象とする活動も多く含まれているので、子どもたちへの環境教育推進にも大きく役立っている。

### 今後の課題、展望

全県的組織である「クリーン・ビーチいしかわ」の活動の中でも、本活動が学生主体の活動ではあるが、より多くの他大学や専門学校、そして高校生の協働参画が望まれ、活動情報の発信や協働への仕組みについての検討が必要である。